

令和5年度事業報告

概要

世界経済は終わりが見えないロシアのウクライナ侵略や、イスラエルのガザに対する報復という侵略による影響で世界的な物価高騰に見舞われ停滞しています。

しかし、日本の株価はバブル期のように上昇していますが、なかなか実感できません。国民の生活は物価高騰や賃金も僅かしか上がらず苦しい状況が続いています。

こういう状況ではありますが、コロナが一般感染症扱いとなったことから、当センターでは4年ぶりに人数制限無しで、定時総会や安全就業促進大会を開催することができました。活動制限もなくなったことから事業実績は、回復に向かい、会員皆様の頑張りも有り当初予算額を達成できました。

会員増については、地域限定で新聞各紙に募集チラシを折込配布したり、入会説明会を月2回に増やしたが効果は上がりず会員数は231名となり昨年度より6名減少しました。

安全就業では、近年会員皆様の安全に対する意識が向上したと思われていたが、前年よりも事故が増えました。慣れや不注意ほんのちょっとした油断が、目立ちます。就業途上の交通事故や車両を運転する会員は特に安全運転に努めてください。

今後も安全就業の徹底と会員数の拡大と事業の実績向上に向けて更なる取組みを行い、安定的な運営を構築していきます。これらを実践するためには、今まで以上に会員、役職員が一体となり、公益社団法人として市民に信頼され、地域の中で高齢者が生き生きと活躍できる場として頼りにされるシルバー人材センターを目指さなければなりません。

定例理事会を計4回開催。各専門委員会は毎月開催しました。

事業実績は 13,613万円、会員数は3月末で231名。

以下、令和5年度の具体的な取組みについて報告します。

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援

就業開拓提供等事業

(1) 受託事業

地域の日常生活に密着した高齢者の就業機会を確保し、希望や能力に応じた就業を行い、高齢者に就業機会の提供に努めました。

受託事業実績(令和5年度)

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
230人	21,863人	99.6%	130,839千円

※主な就業内容は、草刈り、剪定、草取り、建物清掃、襖・障子の張替え、大工仕事、屋内片付け、屋内外の軽作業、広報配布、ワンコインサービス(簡易な困りごと支援)、着物着付け、子育て・福祉・家事援助サービス事業、介護予防日常生活支援総合事業等

(2) 独自事業

高齢者の知識、経験、能力を活用し会員の創意工夫をこらした多様なサービスの展開を行い地域社会に提供し事業の推進に努めました。

独自事業実績 (令和5年度)

就業実人員	就業延人員	契約金額
24人	1,199人	5,292千円

※主な就業内容は、刃物砥ぎ、パソコン教室開催、布ぞうりや毛糸編み物製作、レザー製作教室、樹脂粘土教室、政庁まつり(フリーマーケット)参加による作品販売、養蜂事業、移動スーパー販売事業

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業

労働者派遣事業

福岡県シルバー人材センター連合会の労働者派遣事業の太宰府市事務所として、地域における就業ニーズと高齢者が求める就業形態に応えるために、高齢者の就業機会を提供しました。

太宰府市実施事務所 (令和5年度)

就業実人員	就業延人員	雇用就業率	契約金額
15人	173人	6.5%	827千円

※主な就業内容は、店舗での清掃作業等、文化財発掘作業

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ・総務広報・就業開拓委員会で、機関紙「シルバー太宰府」、会員だより「宝満」を発行し情報の発信に努めた。
- ・シルバー事業の理解と支援が得られるよう、市民や事業所等に広く周知するため、

機関紙、ホームページ、インスタグラム、市広報誌などを活用した広報と情報公開を実施しました。

- ・政庁まつり(フリーマーケット)にてシルバー事業の広報や会員が制作した作品の展示販売を行った。他に福祉まつり、地域校区文化祭にて広報周知に努めた。
- ・シルボンヌ(Sc 女性会員)の活躍推進と会員増に向けたサロンを開催しました。会員でなくても参加できることで、入会の後押しや潜在会員を引き出す工夫をした。

(2) 社会参加活動

シルバー事業の理解と周知及び地域社会に少しでも寄与するためボランティア活動を実施した。

- ・会員によるボランティア班「里山を守る会」が政庁跡周辺と市民の森、御笠川遊歩道、政庁通りのゴミ・空き缶の回収などの美化活動を定例で月1回、雨天を除き6回実施した。参加者は73名でした。
- ・毎年10月の全国SCクリーンデーを、21日(土)に実施し、各地域区の通学路や公園等の清掃・美化活動に118名が参加しました。
- ・会員活動推進事業(ポイント制)2年目は、地区会議やクリーンデー活動、ボランティア参加をとおして、SCの目的である地域社会の発展に寄与する一助とする。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の推進

- ・「安全はすべてに優先する」の理念のもと、安全適正就業委員会の開催を10回、その中で安全パトロールを計7回実施しました。
- ・事故発生件数は、残念ながら傷害事故が8件、賠償事故が3件、自動車車両事故が1件の昨年度を超える合計12件が発生しました。今後は事故ゼロ実現の為に取組みを強化する必要があります。
- ・「安全就業決起集会」 令和5年7月4日 にSC 玄関前で開催 会員35名参加
- ・福岡県連合会主催の安全就業促進大会 令和5年7月24日(月)
事務局含め7名参加 福岡市早良区東市民センター
- ・「安全就業促進大会」 令和6年2月15日 会場:プラム・カルコア太宰府
安全標語優秀作品3点の表彰 山田会員の事故事例発表「チェーンソー作業の事故に学ぶ」他、事故対策事例の説明 健康維持の為にフレイル予防体操実施、最後に安全就業宣言で締めくくりました。 会員71名参加

(2) 適正就業の推進

- ・就業適正要綱に基づき、センターの趣旨目的に沿った公平で適正な就業機会の提供を進めました。
- ・ワークシェアリング等により多くの会員に公平な就業機会を提供するため、会員の希望に沿った就業提供、未就業会員の解消に努めました。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

会員及び入会を希望する方を対象に随時、就業相談を行いました。就業先相談を令和6年2月5日～9日に設定し相談を受けました。

(2) 入会説明会の開催

入会説明会は毎月2回(第1・第3金曜日)開催し、希望する就業について個別の面談を行ない入会促進に努めました。なお、説明会以外でも随時希望者に対して説明を行いました。

4 研修・講習事業

就業に必要な技能、知識の取得、安全就業、フレイル予防講習会室等実施した。

(1) 剪定・チェーンソー技能講習会(令和5年9月27日～29日, 11月15日～17日)

それぞれ1名の2名参加 会場:四王寺県民の森研修棟他

(2) 訪問型生活支援担い手研修(令和5年10月1日～11月12日の間の6日間)

2名参加 訪問型サービス事業所で働くことができる資格取得 会場:大野城市役所

(3)刈払機技能講習会(令和5年10月19日～20日)

3名参加 会場:春日市シルバー人材センター

(4)高齢者交通安全教室(令和5年12月12日)

実際乗車しての安全運転5名参加 会場:筑紫野自動車学校

(5)自動車安全運転競技大会(令和5年9月23日)

会場:西鉄自動車学校 移動スーパー就業会員2名他1名参加し優秀な運転で高齢者と女性部門で表彰を受けた。

(6)シルボンヌ全国大会2023in 福岡(令和5年11月29日) 4名参加

会場:JR九州ホール 大穂、梅木両会員がステージ上で梅ヶ枝餅焼き体験活動や着付けファッションショーを展開。当 SC シルボンヌの活動を全国へ発信した。

(7)新入会員研修会(令和6年2月1日)

会場:センター2階研修室 就業体験発表、専門委員会報告、接遇講義「会員のマナーについて」 講師 嶋野 智子さん 参加20名(対象者35名)

(8)フレイル予防健康講座 (令和6年2月29日、3月22日)

会場:センター2階会議室 フレイル予防自宅のできる体操実施。 参加29名
講師 宇野木 博子 さん(健康体操教室主宰)

(9)スマートフォン操作講習会(令和6年2月26日、3月5日、8日)

会場:センター2階会議室 LINE、スマホ決済、QRコードでの読取り方法を実機で操作学習 参加24名 協力 ベストITビジネス

(10)草刈班、古都保存協会草取り就業説明会にて AED 操作研修を実施しました。